

2007年度 (社)鶴岡青年会議所 第41代理事長ごあいさつ



新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお喜びを申し上げます。

私は、社団法人鶴岡青年会議所第41代理事長の佐々木一広でございます。年初を迎えるにあたり、これまで(社)鶴岡青年会議所を支えていただきました、関係諸団体、地域住民の皆様には大変感謝し、ここまで青年会議所を築きあげてきた先輩諸兄に敬意を表すると共に、あらためて40年という歴史の重さを感じております。そしてまた、あらたな一步を踏み出すことにうれしさを感じております。本年度は「まちに夢を描こう ～未来のまち、そして子どもたちのために、みんなの夢を描こう!」をスローガンに掲げ活動をさせていただき、「明るい豊かな」まちを築くために、地域の皆様、関係諸団体の皆様、同士である他青年会議所の皆様、そして先輩諸兄、現役メンバーとの交流を図りながら、青年会議所はまちの先導者として、事業を展開し、まちに「夢」が描ける活動をしてまいります。そして私達は、計画しております、すべての事業に真剣に取り組んでいきます。また、昨年度は菅原一浩君をブロック会長として輩出させていただき、一年間LOM内外皆様に大変お世話になり、誠にありがとうございました。この経験を今後のLOMの運営に反映し、より地域に貢献できる青年会議所へ進化して参ります。2007年度、約100名のメンバーと共に地域のために高い志をもって活動してまいりますので、一年間よろしく願いいたします。

2007年度 (社)鶴岡青年会議所

スローガン・基本理念・基本方針

《スローガン》 まちに夢を描く

「未来のまち、そして子どもたちのために みんなの夢を描こう!」

《基本理念》 夢を実現し成功するためのキーワード

「自信」 「夢」を実現させる為には、「出来る!」という「自信」が必ず必要です。「自信」は自分を信じることであり、自分自身のスキルや経験によるもので創造豊かな発想を導いてくれます。

「失敗を恐れない」 失敗を恐れているは「夢」を実現させる事は出来ません。失敗を恐れずに立ち向かうことは、人を大きく成長させてくれます。

「あきらめない」 描いた「夢」を忘れず、失敗しても何度も挑戦し実現するまで行動する。あきらめなければ、実現不可能な「夢」はありません。このまちにみんなで描く「夢」の実現に向けて...

《基本方針》

1. 次世代に向けた組織力、人間力の向上をはかる
2. 思いやりの心をもった次世代を担う青少年の育成
3. 継承と進化が両立する多様なつながりを活かしたLOM運営体制の確立
4. メンバー、LOM、地域とのネットワークの強化
5. 自分たちの住むまちの魅力の再確認



佐々木 一 広



プロフィール

1969年 埼玉県生れ
埼玉県立志木高校 卒業
亜細亜大学 法学部 卒業
1995年 来鶴
1998年 鶴岡青年会議所入会



2007年度 社団法人 鶴岡青年会議所 組織図

”夢を実現する
新体制スタート!
今年一年どうぞよろしく
お願いいたします!”



●●● 2007年度 (社) 鶴岡青年会議所 出向者 ●●●

氏名	出向先	委員会名	役職	氏名	出向先	委員会名	役職
1 恩田 健次	東北地区協議会	財政特別委員会	副委員長	11 渡会 輝美	山形ブロック協議会	経営資質向上委員会	委員
2 齋藤 正至	東北地区協議会	財政特別委員会	幹事	12 相馬 大	山形ブロック協議会	組織連携推進委員会	委員
3 富樫 幸衛	東北地区協議会	ゼミナール委員会	委員	13 佐藤 聡	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
4 渡邊 三千雄	東北地区協議会	東北の力創造委員会	委員	14 佐藤 康之	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
5 佐藤 正廣	山形ブロック協議会	地域政策委員会	委員長	15 小林 範正	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
6 岡崎 克己	山形ブロック協議会	教育実践委員会	副委員長	16 松田 博美	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
7 斎藤 孝一	山形ブロック協議会	地域政策委員会	幹事	17 菅原 青	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
8 富樫 正樹	山形ブロック協議会	地域政策委員会	委員	18 斎藤 泰	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
9 齋藤 亮一	山形ブロック協議会	地域政策委員会	委員	19 田中 雄樹	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員
10 諏訪 友幸	山形ブロック協議会	会員大会運営委員会	委員	20 筒井 重浩	山形ブロック協議会	アカデミー委員会	委員

2007年度 副理事長ごあいさつ



2007年度社団法人鶴岡青年会議所
副理事長 渡邊 三千雄

2007年度の私のテーマは財産である「人」です。JCの魅力はなんといっても「人」にあると思います。隠れた人材を発掘し、発見することがこれからの青年会議所を継承・進化させていく上ではとても重要であり、それが「明

い豊かなまち」に繋がります。LOMとしてこの地域の未来を担う仲間を増やすことはもちろんのこと、財産であるメンバーの能力や価値、存在を認め合いそして理解し合い、その人が持っている可能性をきちんと見極めて、共に行動することが大切であると考えます。

夢を描き、夢を語り、共に汗を流し、事業を創り上げていくことが「友情」を育む第一歩に繋がります。仲間を守り増やし育てる活動が大切であると考えます。メンバーからの情報収集に努め、情報交換をし会員拡大運動を全員で活動していきたいと思っております。

また、研修事業を通し会員一人一人の成長がLOMの質の向上と人間力を高め、スキルアップに繋げていきたいと思っております。理事長を助け、会員拡大研修室、委員長、委員会メンバーと協力しながらサポートしていきたいと思っております。最後に副理事長の大役を仰せつかりましたことを大変光栄に存じます。自分の成長に繋がることを信じて、精一杯努力したいと思っております。一年間よろしくお願い致します。



2007年度社団法人鶴岡青年会議所
副理事長 富樫 幸衛

今年度、社団法人鶴岡青年会議所の副理事長を務めさせていただくことになり、大変光栄に思います。鶴岡青年会議所(JC)としては、41年目を向かえ私自身、入会して10年目の年となります。また、私が入会した当時の大半の

メンバーが卒業され、新たな気持ちでスタートをきらなければと

思っております。そして、委員会活動では、情報交流支援室を中心にサポートさせていただきます。交流委員会では、JC内外との交流事業を中心に活動し、広報委員会では、広報誌発行等によるJCの活動を対内外に発信してまいります。公益法人制度改革により、JCとしてより公益性のある事業ができるかを常に念頭におきながら、交流委員会に関しては、継続的な交流はもちろんのこと、この地域との新たな交流からJCとして新たな方向性が見出せるようにできればと考えております。また、広報委員会に関しては、情報を発信するだけでなく、地域の情報を受信して今後のJC活動に役立つようにできればと思います。毎年同じことをやるのではなく、新たな視点で効率的に且つ効果的にできればと思いますので、そのような方向でサポートさせていただきたいと思っております。一年間よろしく願いいたします。



2007年度社団法人鶴岡青年会議所
副理事長 恩田 健次

新春の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は、社団法人鶴岡青年会議所に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年は菅原衛理事長の下、40周年事業におきましても多大なるご理解、ご協力頂き誠にありがとうございました。この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

さて今年度以降、各地の青年会議所、我々鶴岡青年会議所も大きな転機となる年となります。「公益法人制度改革」により、より公益性のある事業が求められる重要な1年であると認識しております。その中で、今年度は2つの大きな役割を果たしてまいります。1つは、LOM活動として地域政策創造室のサポートです。公開討論会・災害関連・夕陽ライン関連をメインとする地域創造委員会。わんぱく相撲・その他青少年事業をメインとする青少年委員会。何れの委員会も佐々木理事長の思いが多く詰まった委員会であり全力でサポートしてまいります。2つ目に、本年東北地区協議会財政特別委員会副委員長として出向させていただきます。LOMに還元できるよう一生懸命活動してまいります。

最後に、副理事長という立場は「副」という文字を取れば理事長であり大変重要なポジションであると認識しております。外部との交流に力を入れLOMという組織と全メンバーをさらに認知して頂けるよう精一杯の努力をさせていただきます。

一年間どうぞよろしくお願い致します。

06 褒賞者

◆ 皆勤賞

- 小林 健治郎 (セクレタリーグループ)
- 叶野 孝志 (総務渉外委員会)
- 辻村 利則 (広報委員会)
- 日下部 真 (広報委員会)
- 奥泉 伸 (研修委員会)
- 諏訪 友幸 (交流委員会)
- 佐藤 智信 (日本一花火委員会)
- 長南 健 (日本一花火委員会)
- 佐藤 正晴 (40周年実行委員会)

◆ 優秀皆勤賞

- 今間 智寛 (会務セクレタリー)

◆ 出向特別功労賞

- 諏訪 友幸 (山形ブロック・JC連携支援委員会)

◆ 新人賞

- 松田 博美

◆ 委員会賞

- 総務渉外委員会 (議事録作成、大変だったで賞)
- 広報委員会 (一年を通して絆が深まったで賞)
- 拡大委員会 (沢山の子宝に恵まれたで賞)
- 研修委員会 (JCは良きご縁、雪だるまの如しで賞)
- 交流委員会 (わんぱくでたくましく育ったで賞)
- 未来創造委員会 (公益法人制度について理解が深まったで賞)
- 日本一花火委員会 (日本一のハーモニーになったで賞)
- 40周年実行委員会 (心に残る記念事業が出来たで賞)
- セクレタリーグループ (各種会議の設営、大変だったで賞)

12月例会

交流委員会委員長 石井裕樹

卒業式のご報告

昨年度、2006年度最後の12月例会「卒業式」。昨年は、大川久信さん、百瀬克彦さん、高橋純人さん、菅原一浩さん、佐藤一又さん、吉永晃さん、以上6名の卒業生が鶴岡青年会議所を巣立ちました。

例会当日は、暖冬傾向の天候にも恵まれ、また、総会とは別の日に開催されたということ、そして、土曜日開催でもあり、多数の例会出席者となりました。これも、やはり、お世話になった卒業生に対し、現役メンバー一同、気持ちよく送り出したい、お礼をしたいという気持ちがあらわれた結果だったと思います。そうしたメンバー一同の期待を裏切らないためにも、そして、満足していただくためにも、我々交流委員会一同、連日連夜企画を練り、リハーサルを重ね、誠心誠意、準備を行ってきました。

さて、その結果としまして、例会の内容について報告いたします。

まずオープニングです。久しぶりに踊りました。体だけでなく



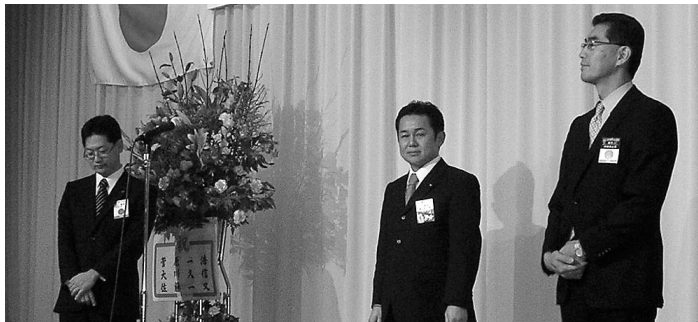
辞のときのエールは正直いって鳥肌がたちました。卒業生の皆様、私たちは、あなたたちの答辞を胸に秘め、41年目からの鶴岡JCの新たな歴史を築いていきます。「明日のために」の微妙なゆれはいかがでしたか？ 追出し状・・・卒業生の皆様、盛り上げすぎて、すみませんでした。中締め、そして、卒業生退場。みなさま本当にありがとうございました。



と通常はここで終わるはずなのですが、終了時間がとくに過ぎ、やきもきしている会場担当者を尻目に、会はまだ続きまます。尾形昌彦先輩（直前理事長）プラス一年間、本当にお疲れ様でした。そして、閉会セレモニー、閉会宣言・・・が、しかし、まだ終わりません。例会終了から二日経過した現在、いまだに頭の奥では、和田アキ子の声が鳴り響いています。

本当に本当に卒業生の皆様、おめでとうございます。当日参加していただいた現役メンバーの皆様、ありがとうございました。グランドエルサンのスタッフの皆様、遅くまで申し訳ございませんでした。以上、私の一年がようやく終わりました。関わった全ての皆様に「感謝」。

心も踊りました。実は、我々以外の現役メンバーに踊ってもらったつもりでしたが、「なんで俺たちが踊らねなや」という全員一致の意見のもと、筋肉痛になりながら、踊りきることができました。そして、「パッションつっじー」のノリノリな協力と被弾者が出なかったこと、それが何よりでした。というよりも、卒業生自身の入場場面が一番盛り上がってくれたことが、実は一番何よりでした。その後、卒業生一同でのJCI クリード唱和やJC 宣言など、例年とは少しずつ趣向を変えながら会は進行していきました。いまさらBGMに「乾杯」を使った、卒業生を振り返る映像はいかがでしたか？ 送辞の場面にも一工夫加えたつもりです。答



クリスマス家族会のご報告

新入会員 佐藤 聡

12月10日(日)、東京第一ホテル鶴岡にてクリスマス家族会が開かれました。今年は「感謝の気持ちを届けよう 今夜はあなたがサントクロース」をテーマに、日頃からJC活動を理解し、協力してくれる家族に感謝の思いを伝えると共に、JCメンバーと家族との交流を深めてもらうことにより、よりよい関係を築くことを目的として企画しました。年末の忙しい時期にもかかわらず、メンバー49名、ご家族約80名の方にご出席いただきました。

会の運営にあたった新入会員「志義会」のメンバーは、約3ヶ月前から準備を進めてきました。小さいお子さん連れのメンバーが多いことから、子供の生活リズムに合わせた開催時間やキッズコーナーを配した会場、アトラクションや食事内容にも最大限配慮しました。

午後5時すぎ、会場の照明が落とされ、キャンドルの炎が、暗闇に浮かび上がると、ジャズバンドの生演奏が始まりました。家族一緒においしい食事を楽しみながら、各テーブルには笑顔の花が咲きました。今年のメインアトラクションは「家族仮装コンテスト」です。6組の家族がエントリーし、創意工夫を凝らした手作りの衣装と、息のぴったり合ったパフォーマンスを披露してくれました。テーマ曲によってスポットライトを浴びながら登場す

ると、会場から大きな拍手が沸き起こりました。厳正な審査が行われ、グランプリをはじめ、各賞が出演家族に授与されました。短い時間でしたが、家族の皆さんで楽しいひと時を過ごしていただけただけなら、嬉しく思います。



2007年度 (社)日本青年会議所 京都会議のご紹介

JCの根幹組織としての会頭の所信などをマスコミや一般市民、日本青年会議所の各地方組織である「地区協議会(例えば東北地区協議会)」や各県組織である「ブロック協議会(例えば山形ブロック協議会)」、LOMと言われる各青年会議所やメンバーに対して発信しています。また、今の日本の現状を考えることができるフォーラムや各種セミナーも開催されます。

2006年12月12日現在、現段階での予定されている主な事業は下記の通りです。

- 1月18日(木)** 下鴨神社新年初祈願／京都府庁表敬訪問
会頭記者会見／京都市長レセプション
第2回正副会頭会議
- 1月19日(金)** 第1回常任理事会／第1回理事会
第1回ブロック会長会議／2006年度 財政審査会議
セネターズクラブ役員会／セネターズクラブ総会
- 1月20日(土)** 2006年度 正副会頭会議／2006年度 常任理事会
全国大会運営会議公開委員会
市民意識変革セミナー(予定)
協働運動・連携推進運動セミナー(予定)
地区・ブロック会計相談会
まちづくり市民財団主催セミナー
メインフォーラム(予定)
「日本の力」発信/理想国家日本の創造に向けて
個別面談ブース(「日本の力」実践G、情報支援G)
LOM会計相談会
JC | ユニバーシティ・ジャパン国内版
「OMO | YAR | 運動」プログラム体験セミナー
- 1月21日(日)** 新年式典／新春交歓会

1月例会

新年祝賀会案内



交流委員会委員長 今間 智寛

新年明けましておめでとうございます。今年度交流委員長を仰せつかっております今間智寛です。来たる平成19年1月23日火曜日午後7時より、東京第一ホテル鶴岡にて、新年祝賀会を開催致します。

新年祝賀会は2007年度(社)鶴岡青年会議所41年目のスタートにあたり、ご来賓・賛助会員・OB及びOG会員の方々に活動方針・体制・新入会員をご紹介します大切な例会でもあります。

また、第1回目の例会として佐々木一広丸の出航の場にもなります。皆様のご協力無くしては船も無事出航する事は出来ません。新年早々何かとお忙しいとは思いますが、是非ともメンバー全員で新年祝賀会を盛り上げて成功させましょう。メンバーの多数のご出席を心よりお待ち申し上げます。

また、OB諸先輩の皆様におかれましては、お忙しい中とは存じますが、現役メンバー一同皆さんにお会いできる事を楽しみにしております。皆様のご参加を宜しくお願いいたします。

理事会より1月の予定

- 11日 第1回理事会
- 18~21日 日本青年会議所 京都会議
- 21日 第1回常任理事会
- 23日 第78回定時総会
1月例会(新年祝賀会)
- 27日 山形ブロック協議会 新春総会(長井)
アカデミー開校式

釣道

～鶴岡の釣り文化～

【序ノ章：クロデェ釣り誕生】

垂釣笠(すいちょうせん)をご存知でしょうか。

1862年(文久3年)旧庄内藩郡代、奉行など要職を歴任した幕末の釣り名人陶山橋木：とうやまこうぼく(本名：陶山七平儀信)が晩年著した庄内釣の歴史書である。後に名竿、庄内竿を完成させた名匠陶山運平は橋木の実弟である。ご存知の通り庄内では古より釣り文化が盛んで、特に鶴岡は“クロダイ釣り”は発祥地であり日本一有名かつ盛んな地でもある。旧庄内藩第六代藩主酒井忠真公が天下太平の世に尚武の心を忘れた家中の藩士に竹竿を刀に見立て、鶴岡城下から海岸まで数里の道を歩いて通わせ、強靱な足腰と心の鍛錬として釣りを奨励したことがその始まりといわれている。おとなり秋田県の旧久保田藩でも武士の釣りが盛んだったらしいが、こちらは「遊芸」であり庄内藩のそれは「武道」であった。私は仕事柄、旧庄内藩主が眠る酒井家墓所に度々訪れるが、その際は必ず六代藩主の墓碑に水をあげるのを忘れないようにしている。「どうか沢山釣れますように…」と願うわけではない。常日頃、釣りができる身体守護への感謝と臥薪嘗胆の心である。

さて庄内釣りの主役クロダイを簡単に解説しておこう。標準和名は“クロダイ”、北海道の1部と沖縄諸島を除く日本各地沿岸や汽水域に生息し雑食で旬は春(※当地では晩秋)、当地ではこのクロダイの当歳魚のことを通称、篠子鰈(シノゴデ)と言い、二歳魚をニ歳(ニセエ)三歳魚を黄鰈(コウデエ)そして成魚は黒鰈(クロデエ)と呼ばれている。このクロダイが日本各地で最も釣人に親しまれる魚である訳は、沿岸で手軽に釣れる反面、警戒心が強くなかなか簡単には針掛かりしてくれないところである。釣法にも各地多種多様の習慣がある。主に「浮き釣り」「落とし込み釣り」「紀州釣り」などが有名だが、庄内では「庄内釣り」と称した、竿に針と糸だけのシンプルな仕掛けを八ヶ(足元からでる潮の流れ)に乗せ、撒き餌を打ちながらアタリ(魚信)を待つ釣法が主流である。大グロを釣るその詳細は次章にとっておこう。 筆 おがいし

鶴岡の祭り・イベント

- 1月14日(日) あつみ温泉
一本木スキー場まつり(温海)
- 1月21日(日) 日本海寒鱈まつり
(鶴岡銀座通り商店街)
- 1月21日(日) キジ汁まつり
(月山あさひ博物村)
- 1月28日(日) 由良寒鱈まつり (由良)
- 1月下旬 地ふびき祭り (渡前)
- 2月1日(木)・2日(金) 春日大社王祇祭
・黒川能 黒川春日神社)
- 2月4日(日) しゃりん寒鱈まつり
(道の駅あつみ「しゃりん」)
- 2月10日(土) 大山新酒酒蔵まつり
(大山酒蔵)
- 2月17日(土) たらなきだ이스キー場まつり
(たらなきだ이스キー場)
- 2月18日(日) 雪とびあ(湯殿山スキー場)
- 2月20日(火) 鶴岡音楽祭
(鶴岡市文化会館)
- 2月27日(火) 金峯山雪灯籠祭
(金峯山中の宮)
- 2月28日(水) 黒川能・蠟燭能 春日神社)

赤川花火トピックス

赤川花火運営委員議長 野口義明

昨年の年末も押し迫った12月19日、07年第17回赤川花火大会実行委員会がいよいよスタートいたしました。第17回の大会テーマは未定ながら、「日本一感動する花火大会」を目指す気持ちには変わりはありません。出羽庄内の地域振興の一助として地域の活性化を図り、何よりも安全第一に努めて参りたいと思います。また、今年度は全国花火サミット(加盟11団体)がこの赤川で開催される事が決定しております。私たちの花火大会を他団体の方々が多数観に訪れます。他団体と比べて実績は少ないですが、我々の若い、熱い情熱を皆さんにお見せするべく前向きに努めていきます。それから、今年もJCメンバー全員が実行委員会に出向という組織体制になっております。そこをお願いがございます。各部長は若いメンバーがほとんどです。改善点、盛り上げるアイデア等、ご意見、ご要望をどんどん出していただければ、より良い花火大会になると考えております。成功に導くためには直前部長、部会メンバー、経験者の協力が不可欠です。みんなで協力し、一緒に感動を創り上げていきましょう!どうぞよろしく願いいたします。

JC 広報 1月号 おめでとう! コーナー

①名 前 ②結婚した日 ③今の気持ちを一言

- ①小林 雅広・真貴子 ②10月2日 ③出会ってから半年、お陰様で結婚することになりました。今後とも御指導宜しく願い致します。『生涯青春、生涯勉強』
- ①青柳 康一郎・幸 ②11月11日 ③何もかもが初めての経験なので戸惑いもありますが、毎日楽しく生活しています。
- ①板垣 一紀・幸枝 ②11月18日 ③今よりも責任がぐっと増えた気がします。また、「色々な方々から支えて頂いてるんだな」と本当に感じています。
- ①後藤 泰輔・はるか ②11月22日 ③出会ってから3ヶ月、九州からお嫁に来ていただきました。これからは子づくりにがんばります! あっJCもがんばります!

庄内映画村 情報

「SUKIYAKI WESTERN DJANGO」のロケが行われ、大勢の見学者で賑わった石倉オープンセット。降雪のため昨年12月初旬にクローズとなりましたが、今年も既に5本の映画のロケが決定し、初春から撮影が始まる予定です。「ICHI(いち)」は女版座頭市物語。監督は曾利文彦。「おくりびと」は故郷に戻った青年が納棺士として成長してゆく物語。監督は滝田洋二郎。また松ヶ岡オープンセットを使った時代劇も撮影いたします。夏と秋にもそれぞれ予定が入り、年間を通して撮影が続きます。エキストラ、ボランティアなど是非お力をお貸しください。



石倉入口

▼庄内映画村 <http://www.s-eigamura.jp/>

編集後記

明けましておめでとうございます。07広報委員会初めての鶴岡JCニュース1月号がやっと出来上がりました。ふう～ いかがだったでしょうか?

広報誌についてのご要望、ご意見もお待ちしております。皆さんのお役に立てるような情報なども入れていきますので今年一年どうぞお付き合いのほどよろしくお願い致します。(hiro)

発行：2007年度 社団法人鶴岡青年会議所
〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5
TEL 0235-24-0377 FAX 0235-22-5090
発行責任者：佐々木 一 広
制作責任者：広報委員会委員長 小池 信 治
発行日：平成19年1月4日
ホームページ <http://www.tsuruoka-jc.info>